

笑顔で客もてなす

小牛田高等学園 生徒がカフェ運営

県立支援学校小牛田高等学園(狩野秀明校長、生徒数65人)の生徒たちが運営する特設カフェ「こごたcafe」が17日と24日、美里町役場本庁舎ロビーなどで開かれた。生徒たちは、訪れた町民や休憩中の町職員などに笑顔でコーヒーや手作

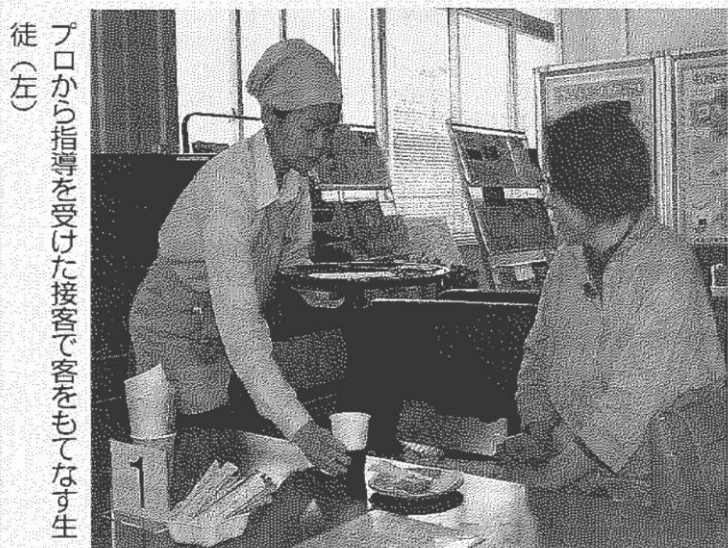
りクッキーを提供し、もてなした。

カフェは、作業学習の一環として2014年に開始。主に同町駅東地域交流センター内に不定期に出店している。これまでは秋に開店しており、ことし初めて春に実施した。コーヒーは、園芸班

が選別した生豆を使ったオリジナルコーヒー「KOGOGAKU COFFEE」。クッキーは、食品加工班が無菌室(クリーンルーム)で作った焼き立て。セットで100円で提供した。

このほか、地域住民から人気が高いメロンパンやガレットも販売。メロンパンはあっという間に売り切れた。カフェホールは、商品管理・サービスを学ぶ2、3年生6人が担当し、プロから指導を受けた接客術を発揮。「いらっしゃいませ」と笑顔であいさつして商品を丁寧にテーブルに置くと、「ごゆっくりどうぞ」と客に心を配った。

カウンターを担当した3年の倉島大樹さん(17)は「お客さまにおいしかったと言われるとうれしい。2年生のときもコーヒーを提供したので、コーヒーを入れる腕が上がった」と話していた。



プロから指導を受けた接客で客をもてなす生徒(左)